

キッズクラブ 2月

野焼き陶芸

2月14日・28日の2日間で野焼き陶芸を行いました。

青少年の家の近隣は、昔から焼き物が盛んな地域です。そんな地域に暮らしているみんなに陶芸を体験してもらいました。初めて陶芸をするお友達もたくさんいましたが、14日はみんな、陶芸ねんどを一生懸命こねて、色々な置物やうつわを形作ることが出来ました。

28日は、14日に作って乾かしておいた作品を焼きました。作品と一緒にみんながそれぞれ持ってきたサツマイモもくべて、焼き芋も作りました。火に作品をくべて約2時間、レンガ色に焼きあがった作品を火から順番に作品を出していくと、『あっ！これ僕がつくったのんや〜！』とたくさん歓声があがり、世界に1つだけの作品を作り上げることが出来ました。

14日 作品づくり



思っていたよりやわらかい粘土だったので、皆色々な形に作ることが出来ました。細長いものや、粘土の中に空気が入ったら焼いたときに割れてしまうので、空気が入らないように気をつけながら、作りました。



野焼きの時にはたくさんの灰が必要です。作品を作った後、皆で落ち葉拾いに行きました。

28日 野焼き



この日は2週間、しっかり乾かした作品を焼きました。まず、集めておいた落ち葉をどんどん燃やして灰を作ります。灰が出来たらその中に作品を入れます。直接火が当たらないように灰の中に作品を埋め込むように並べます。そして約2時間、炭もくべながら火を保ちました。待っている間にお弁当を食べて、焼き芋の準備をしました。地面に散らばった落ち葉も皆で掃除し、ゲームをしながら作品が焼けるのを待ちました。レンガ色に焼けた作品とほっくほくの焼き芋ができあがりました。



今年はたくさんのお友達がキッズクラブに参加してくれました。

来年度も、みんなで元気いっぱい色々なことにチャレンジして行きましょうね。